

2009年5月7日

会員・関係 各位



松山市の景勝地 白石瀧神社
4月初旬 H・Mさん撮影 デジカメ

特定非営利活動法人 KHJ 香川県オリーブの会
連絡先 TEL：087 843 9877（川井）
FAX：087 816 8335（＼）
ホームページ <http://khj-olive.com/>

若葉の美しい季節となりました。「オリーブの会」もNPO法人(特定非営利活動法人)として2年目をスタートしました。
これからも皆様のさらなるご指導、ご協力をお願いいたします。
つきましては下記の通り5月の月例会を開催いたしますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

第83回月例会ご案内

1) 日 時 5月24日(日)

13:00～13:30 受付

13:30～13:40 理事長から報告・連絡

13:40～16:00 講演 社会への一步は若者の「居場所」から！
(ひきこもり回復への学習会と居場所の大切さ)

講師：NPO法人KHJ千葉なの花会理事長
日本心理学会認定心理士

藤 江 幹 子 氏

途中 休憩と質疑応答あり

2) 場 所 香川県社会福祉総合センター 6階 研修室

TEL 087-835-3334 県庁の斜め向い

3) 参加費 会員 1,000円(1家族につき)・一般 1,500円

【年会費払込のお願い】

NPO法人KHJ香川県オリーブの会の年会費払込票を5月案内状に同封させていただきます。引き続きご入会頂きますようお願いいたします。

また、4月例会に参加された会員の皆様には、当日 年会費をお納めいただき有難うございました。

年会費は正会員が毎月の参加費（会場費等）とは別に年に一度納めていただく会費です。

正会員 個人 1口 3000円 1口以上

賛助会員 個人 1口 2000円 1口以上

（理解ある知り合いの方などに、支援の呼びかけをお願いいたします）

団体 1口 3000円 1口以上

【今後の月例会】

引きこもり講演会 6月21日 13:00～受付 香川県社会福祉総合センター
一部講演 テーマ「訪問型相談と支援」を続けて

講師 さが若者サポートステーション総括コーディネーター

NPO法人スチューデント・サポート・フェイス

代表理事 谷口仁史氏

二部講演 テーマ 動き出す！「国の引きこもり関連諸施策」

講師 NPO法人全国引きこもりKHJ親の会（家族会連合会）

代表 奥山雅久氏

この引きこもり講演会は香川県共同募金会の助成を受け、開催することになりました。

NPO法人SSFの代表理事 谷口氏は平成15年より不登校の訪問相談を始め、ニート、引きこもりなど多くの若者をきめ細かく支援されてきており、その実体験を踏まえたお話をお願いしています。訪問支援に関しては、約3,200件に携わった他、佐賀県他政府系では「青少年育成施策大綱」の改訂に係る委員として携わりました。

【居場所活動予定】

5月 3日（土） オリーブの会運営委員会 (13:30～16:00)

5月 9日（土） 松田先生 個人カウンセリング (9:00～13:00)

5月 2日（土） 16日（土） 30日（土） ポパイの会 (13:30～16:00)

5月 24日（日） 松田先生 家族相談 (9:00～12:00)

【お知らせ】

オリーブの会の運営にご協力頂ける方を募っています。連絡お待ちしております。

連絡先 TEL：087-843-9877（川井）

【ポレポレ農園】

ポレポレ農園を見学したい方、野菜の購入や作業等、わずかな時間でもお手伝いを頂ける方（ボランティア）は松田先生（[携帯電話 090-8695-0904](tel:090-8695-0904)）までご連絡下さい。

【前回の月例会より】（一部、概略）

「ひきこもり支援の県の方向性」

13:30～13:55

香川県健康福祉部障害福祉課

課長補佐 久保賀津彦氏

この4月に県の障害福祉課に転任した。現時点でのひきこもりに対する県の方向性について話をする。

ひきこもりの現状・実態調査について（平成 14~17 年厚労省による岡山・鹿児島・長崎での調査） 全国（推計） 32 万世帯 0.67%

香川県：2610 世帯

年齢別：25～29 才 34.8%

30～34 才 13% 不明 21%

ひきこもり経験者：20～49 才を対称とすると男 73.7%、女 26.3%

開始年齢：15～19 才 31.6%、10～14 才 15.8%、20～24 才 15.8%

ひきこもり期間：6～11 か月 57.9%、12～23 か月 21.1%

年々ひきこもり期間が長くなっている。

3 年前保健所で精神保健の相談員をしたことがある。相談活動を通してひきこもりの原因がわからない・出られない等家族の困難を知った。また、時間のかかる問題であると理解している。

香川県の取り組みでは県の精神保健福祉センターで親のグループワークをしている。

西讃保健所では親の集いや居場所活動をしている。

平成 20 年、国はひきこもり対策として、ひきこもり地域支援センターの設立を決め、ひきこもり支援ネットワーク・ひきこもり支援情報提供を行うとして予算化した。

一県 700 万円（国 1/2、県 1/2 負担）

オリーブの会の要望として民間委託でなく公的機関としての地域支援センター、土、日曜日の開設、ひきこもりに詳しい精神科医の紹介等が出された。

しかし、県の予算は通らず。別に十数万円の予算がついた。使途については現在検討中、オリーブの会とも相談したい。

情報提供についての施策は県のホームページに「ひきこもりコーナー」の設置を考えている。少しずつでも支援の輪を広げていきたい。今後ともよろしく。

2009 年度 通常総会 13:55～14:50

別添 2009 年度通常総会議事録の通り

父親の集い・母親の集い 15:05～16:40

父親の集い

参加者：県健康福祉部障害福祉課課長補佐

久保賀津彦氏・ボランティア 甲木五郎さん

含め 計 9 名

ひきこもり期間が長い。将来が見えない。親の力ではどうしようもない。親の責任ではあるが、親として手の打ちようがない。本人も親の死を恐れている。行政に願うことは支援金を出して貰うこと、何をすることも「金」である。県、市にお願いしたい。

久保課長補佐 知的障害については障害手帳がある。級により 6～8 万円。

ひきこもりも障害の一種として知的障害と同じように考え、同じように支援して貰おうとする動きと、逆にそれに抵抗する考え方がある。

本人は一步も外に出ない。本人が医者に行かないと何も進まない。医者は往診はしてくれない。医者は本人を連れて来いという。

久保課長補佐 何のために本人に会いに来るのか、本人の了解を得て貰わないと行けない。

親戚も出来るだけ関与しないようにしている風がある。親の会に出てきて皆に悩みを聞いて



松山市 白石の鼻（石の鳥居跡）

貰うと心が楽になる。

どこから、どういう支援が受けられるかハッキリしたラインがあるかないのか知りたい。

生活保護に結びつける動き、生活障害の概念をつくっていこうという動きが出てきた。

ひきこもりを精神障害の一つとして位置づけられる人は障害年金を受けられるが、精神障害の含まれない事例は対象外となる。まだまだそういう動きは出始めたばかり。

行政に支援を求めるためには我々親がもっと勉強してもっと整理する必要がある。

ひきこもりの会K H Jに出てくるのはほんの一部のみである。出てこないひきこもり全体を把握、分析するのが大事である。まず、行政にしてもらいたい。

身体障害のように外から見えない、放置される。行政にも実態把握をしっかりと初めから支援策を考えてほしい。

甲木さん 私の経験から当事者の側からの発言となる。これではダメだと自分から動き出したのは1~2年前から。父が病気、定年を迎えたことで我に返った。

20社余り面接を受けたけどどれもダメ。週1回仕事プラザに通っている。障害手帳は持っていない。医者には障害手帳の基準には該当しないとされている。

今は親の扶養親族になっている。要は本人次第。キッカケがあれば良い。キッカケが大事。

ひきこもりも他の人とあまり変わらないのではないかな？人よりちょっとだけ余計に考えるだけのように思う。

ひきこもりにも多くのパターンがあり、それぞれ内容が違う。

親が病気になったらたいいの者がドキッとするだろう。

出来れば今後、毎月県の方にこの会に出席して頂きたい。

母親の集い

参加者：県健康福祉部障害福祉課主任 佐藤真千子氏も含め 計15名。

参加者全員が各自の現況について語った。

何か行動を起こさなければこのままズルズルいくように思い別居した。その結果、ひとりで買物に行ったり、一人で生活出来ることがわかった。

居場所に通いだし友達が出来て明るくなった。

10年間ひきこもっていたのが働きに出て、ある日突然仕事を辞めて現在家にいる。しかし、以前の状態ではない。自分が出ようと思えば出られるんだなというのがわかって、このまま様子を見ようと思っている。

母親が怪我をしたのがきっかけで毎日食事を作ってくれたり、家事を手伝ってくれるようになった。

佐藤主任 12万円あまり予算があるので、こんな事をしてほしいという事があれば言ってほしい。



以上

元和4年(1618)、松山城主加藤嘉明は湯月八幡宮の境内に社を建て家康を祭祀した。

それを後の城主松平定静がこの地に移した。

明治44年に、菅原道真を祀る社と徳川家康を祀る東照宮とを合わせて松山神社と名を改めた。